

# 2月定例会

## 令和5年度一般会計当初予算 173億9千345万円を可決

令和5年2月定例会は、2月20日から3月10日までの19日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、人事2件、専決1件、条例等23件、予算14件の計40件でした。市長の施政方針を受け、その後、すべての議案の提案理由の説明が行われ、このうち第1号議案から第3号議案は採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

2日目、第4号議案から第40号議案までの質疑が行われ、第9号議案については総務産業建設常任委員会に、予算の14議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、3月7日・8日・9日の3日間で、10名の議員が質問を行いました。

定例会最終日(3月10日)の本会議において、各委員長報告を行なった後、第34号議案および第35号議案については反対および賛成の討論があり、採決の結果、第34号議案については賛成多数で可決、第35号議案については可否同数となり、議長裁決により原案のとおり可決しました。また、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

最終日、市長提出議案2件(第41号議案および第42号議案)が追加提案され、質疑を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

同日、議員提出議案2件(議提第1号および議提第2号)が上程され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

### 条例等

◎白石市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

近年の環境に対する意識の高揚や、ゼロ・カーボン社会の実現に向けた再生可能エネルギー施策の推進により、再生可能エネルギー発電設備の設置が全国的に増加する一方、不十分な施工

による災害発生の恐れや、立地地域でのトラブル、山林伐採による自然や景観破壊、事業終了後の設備放置に係る懸念等が課題となっています。

本市においても再生可能エネルギー発電設備の設置や計画があることから、本市の豊かな自然環境、美しい景観および安全安心な生活環境の保全と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和を図るため、条例を制定するものです。

## 2月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第3号	専決処分承認を求めることについて(専決第1号) (令和4年度白石市一般会計補正予算)	承認
第4号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決
第5号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について	原案可決
第6号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について	原案可決
第7号	白石市外二町組合規約の変更について	原案可決
第8号	白石市個人情報保護法施行条例	原案可決
第9号	白石市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例	原案可決
第10号	白石市部設置条例の一部を改正する条例	原案可決
第11号	白石市民バス条例の一部を改正する条例	原案可決
第12号	白石市公の施設における指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第13号	白石市地籍調査実施委員会条例を廃止する条例	原案可決
第14号	白石市特別職の職員に給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第15号	簡易給水施設補助金交付に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第16号	白石市道路占用料条例の一部を改正する条例	原案可決
第17号	白石市公共物管理条例の一部を改正する条例	原案可決
第18号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第19号	白石市材木岩公園等設置条例の一部を改正する条例	原案可決